

夏季課外発進その5

「社会」と「理科」の完成が、大学受験全体を左右します。この「社会」「理科」への対策と、センターの過去問の徹底及び2次対策のノート作りをそれぞれが目標をもって、1日12時間学習を目標にしてほしいと考えます。

スマートフォンを手にして3時間も4時間も学習が手につかないものは、もはや手立てはありません。浪人を覚悟したところで、来年の大きな制度変更について何も情報もなく、大きな海原を木葉一枚に乗って漂うような状況に陥ると思います。

自分で生きていくほかはないので、最小の努力で最大の効果を得ることへの反動や努力を怠った結末には、自分が責任を取らなければなりません。

生きていけないことはないでしょう。仕事を見つけ、毎日その仕事を一生懸命続けることができれば、それはそれで立派な人生です。ただし、その後、自分の始末を嘆いたところで、戻り道はありません。

この大きな分岐点を友人たちとともに共闘して、努力を続け、最後の最後まであがいていくことでこじ開ける自分の将来は、本当に誇るべきものです。このことこそが、この磐城高等学校に入学した大きな意味となるでしょう。

すべての人々に素晴らしい未来が待っているとは断言できない現代の状況の中で、先輩諸氏が築いてこられた実績をいただきながら、自分の個性を十二分に生かしていく毎日の1分1秒が輝かないはずがありません。

たかが12時間の学習くらいで、値を上げていたら、患者を前にして執刀することなく終わってしまう医師になってしまいますし、飢餓に震える子供たちの前に一粒の麦を持っていくことができない弁務官になってしまいます。

国境を超え、時代を超え、様々な差別を超え、人の未来へ大きな布石を打つためには、この戦いを勝利しなくてはならないのです。

不眠不休で働かなければならない時代を勇気と自信をもって立ち向かう訓練を今あなたたちはしているのですから。

君たちが夜遅くまで部活動を行いながら、眠さに負けないでT1ビルの自習室で勉学に勤しんでいたことは、深く胸に刻んでいます。ラトブの自習室で遅くまで学習し、終電の1本前に列車で帰り、自宅でその復習をして、朝早くから、坂道を登ってきたことは、私の記憶に強く刻み込まれています。

君たちは、まさしく磐城高校の生徒です。この思いを具現化するために、あと半年頑張りましょう。たかが180日です。

皆の体の中をコバルトブルーの魂が流れるようになったときに、この戦いは勝利となります。頑張り。頑張り。頑張り。頑張り。少し休みながら頑張り。頑張り。頑張り。